

榛東村個別施設計画

一上水道施設一

平成31年度 ～ 平成40年度

榛東村上下水道課

1. 優先順位の考え方

(1) 計画の目的

本計画は、上水道施設のメンテナンスサイクルの実施計画を定めることにより施設の維持管理・更新コストの縮減・平準化を図ることを目的とする。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、「榛東村公共施設等総合管理計画」のもと、個別インフラの計画的な維持管理・更新を推進するものである。また、本計画は、水道事業の経営上の事業計画である「水道ビジョン」と連動した計画として策定するものである。

(3) 計画期間

本計画の期間は、平成31年4月から平成41年3月までの10年間とする。

(4) 対象施設

本計画では、対象となる施設を上水道施設とインフラ施設とする。

上水道施設は、下表を対象施設とする。インフラ施設については、5. インフラ施設の整備・更新予定で計画の検討を行うこととする。

No	建物名称	所在地	延床面積(m ²)	構造	建築年度	耐用年数	経年数	耐用年数 経過年度
1	北部浄水場管理棟	山子田1922-2	35.00	RC	1972	38	46	2010
2	北部浄水場減菌室	山子田1922-2	7.20	RC	1972	38	46	2010
3	北部浄水場ポンプ室	山子田1922-2	12.30	RC	1972	38	46	2010
4	南部浄水場管理棟	広場場2214-4	48.00	RC	1971	38	47	2009
5	南部浄水場減菌室	広場場2214-4	3.40	RC	1971	38	47	2009
6	南部浄水場ポンプ室	広場場2214-4	12.50	RC	1971	38	47	2009
7	桃泉浄水場減菌室	新井3797-7他	11.25	CB	1977	38	41	2015
8	長岡浄水場管理棟	上野原2-1	108.00	RC	1976	38	42	2014
9	長岡浄水場減菌室	上野原2-1	11.20	RC	1983	38	35	2021
10	中央配水池管理棟	新井3514-2	42.00	RC	1983	38	35	2021
11	梨子木平浄水場管理棟	長岡1198-2、-3	89.50	鉄骨	1997	31	21	2028
12	新井浄水場管理棟	新井2094-2	108.00	RC	1976	38	42	2014
13	新井浄水場倉庫棟	新井2094-2	34.00	RC	2005	38	13	2043
14	新長岡浄水場	上野原2-13の一部	31.05	RC	2012	38	6	2050
15	南部浄水場PC配水場管理棟	広場場3589-2	31.05	RC	2008	38	10	2046
16	北部第2揚水機場	長岡2000,2002他	28.00	RC	1974	38	44	2012
17	北部第3揚水機場	上野原吾妻山1-3	34.00	RC	1974	38	44	2012
18	長岡揚水機場	長岡1430-1	59.10	RC	1974	38	44	2012
19	下新井揚水機場	新井2245-4	90.00	RC	1974	38	44	2012
20	南部第2揚水機場	新井953-4	34.00	RC	1974	38	44	2012

(5) 対策の優先順位の考え方

以下の項目を考慮して対象施設の対策の優先順位を決定する。

- ① 施設の状態 … 施設の劣化・損傷の状況や要因等を確認する。コンクリート表面劣化、コンクリート中鉄筋腐食等を目視により確認する。
- ② 施設の役割・機能 … 当該施設が果たす施設の役割・機能を示す。
- ③ 人口減少 … 今後、進行する人口減少の見込みとそれに伴う利用低下の割合を検討する。併せて今後の事業規模の縮小も検討する。
- ④ 利用状況・施設の効率性 … これまでの利用状況、今後の利用見込みにより事業規模、施設配置について検討する。その際、将来の水需要の減少を考慮する。
- ⑤ 水源の汚染 … 水源の汚染リスクに対する対応等の水質環境を踏まえた対策を検討する。
- ⑥ 利水の安全性低下 … 利水の安全性を踏まえた水源確保に関する事業環境を検討する。
- ⑦ 重要度 … 総合的に判断した重要度。今後の適切な施設配置について検討する。

※③～⑥は、水道事業ビジョンにおいて認識・予測することが基本とされる将来の事業環境であり、本計画の策定に関連する事項であるため個別施設の状況等と併せて検討する。

※本計画の試算における更新周期及び設定単価は、上位計画の「榛東村公共施設等総合計画」で採用されている総務省監修「公共施設等更新費用試算ソフト」の標準更新周期・標準単価を用いる。

(6) 対策の優先順位

① 事業規模について

人口推計(国立社会保障・人口問題研究所)により村内人口は、14,219人(平成30年度)から13,643人(平成40年度)への推移が見込まれる。これによる水需要は、年間1,640,796 m^3 (平成30年度)から1,587,444 m^3 (平成40年度)へ推移する見込みである。変化率としては、人口が4.05%の減、水需要は3.25%の減である。人口、水需要ともに減少する見込みであるが、変化率が小さいことから早期の事業縮小・統合には至らないと考える。

以上により今後の10年間は、現状と同規模程度の配水能力を維持し、現状施設を更新することで対応する。また、水道事業の民営化・コンセッション方式、広域化については、当面の導入予定はないが、ダウンサイジングの一環として検討していく。

② 対策の優先順位について

施設更新について法定耐用年数を基に更新の検討をするが、各施設の老朽化の状態を確認した上で今後も利用可能な施設については更新期間を延長して施設利用を行う。また、施設利用率が低い施設については、今後、施設の廃止も含めた検討を行う。

なお、施設更新の際には、更新時期が集中しないよう更新時期の平準化を図ることとする。

2. 対象施設の状態

1 北部浄水場管理棟

山子田1922-2

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	北部浄水場の施設管理室。 処理水量 1,200m ³ /日。配水池容量 483m ³ 。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	配水施設として利用。
水源の汚染	該当なし。
利水の安全性低下	該当なし。
重要性	今後、施設の必要性について検討する。

2 北部浄水場滅菌室

山子田1922-2

施設の状態	劣化あり。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:屋根裏側に剥離・剥落あり ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:上記箇所にて鉄骨の錆を確認
施設の役割・機能	北部浄水場の塩素消毒室。 処理水量 1,200m ³ /日。配水池容量 483m ³ 。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	該当なし。
水源の汚染	該当なし。
利水の安全性低下	該当なし。
重要性	今後、施設の必要性について検討する。

3 北部浄水場ポンプ室

山子田1922-2

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	北部浄水場のポンプ室。 処理水量 1,200m ³ /日。配水池容量 483m ³ 。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	該当なし。
水源の汚染	該当なし。
利水の安全性低下	該当なし。
重要性	今後、施設の必要性について検討する。

4 南部浄水場管理棟

広場場2214-4

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	南部浄水場の施設管理室。 処理水量 2,200m ³ /日。配水池容量 666m ³ 。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	同規模で維持予定。
水源の汚染	凝縮沈澱池・急速濾過器を整備済。
利水の安全性低下	予備水源として榛名白川表流水1592m ³ /日。
重要性	浄水施設として利用。同規模で維持。

5 南部浄水場滅菌室

広場場2214-4

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	南部浄水場の塩素消毒室。 処理水量 2,200m ³ /日。配水池容量 666m ³ 。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	同規模で維持予定。
水源の汚染	同浄水施設に凝縮沈澱池・急速濾過器を整備済。
利水の安全性低下	予備水源として榛名白川表流水1592m ³ /日。
重要性	浄水施設として利用。同規模で維持。

6 南部浄水場ポンプ室

広場場2214-4

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	南部浄水場のポンプ室。 処理水量 2,200m ³ /日。配水池容量 666m ³ 。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	同規模で維持予定。
水源の汚染	同浄水施設に凝縮沈澱池・急速濾過器を整備済。
利水の安全性低下	予備水源として榛名白川表流水1592m ³ /日。
重要性	浄水施設として利用。同規模で維持。

7 桃泉浄水場滅菌室

新井3797-7他

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	桃泉浄水場の塩素消毒室。 処理水量 120m ³ /日。配水池容量 79m ³ 。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	配水施設として利用。
水源の汚染	該当なし。
利水の安全性低下	該当なし。
重要性	今後、施設の必要性について検討する。

8 長岡浄水場管理棟

上野原2-1

施設の状態	劣化あり。建物内部で雨漏りで天井が剥がれ落ちている箇所あり。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:屋根裏側に剥離・剥落あり ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	長岡浄水場の施設管理室。 新長岡浄水場の建設に伴い、本施設は利用していない。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	該当なし。
水源の汚染	該当なし。
利水の安全性低下	該当なし。
重要性	今後、施設の必要性について検討する。

9 長岡浄水場滅菌室

上野原2-1

施設の状態	劣化あり。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等):屋根裏側に剥離・剥落あり ・コンクリート中鉄筋腐食:なし
施設の役割・機能	長岡浄水場の塩素消毒室。 新長岡浄水場の建設に伴い、本施設は利用していない。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	該当なし。
水源の汚染	該当なし。
利水の安全性低下	該当なし。
重要性	今後、施設の必要性について検討する。

10 中央配水池管理棟

新井3514-2

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	中央配水池の施設管理室。 新井地区を中心に配水。配水池容量 1,400m ³ 。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	同規模で維持予定。
水源の汚染	県央水道から受水。原水流入なし。
利水の安全性低下	該当なし。
重要性	配水施設として利用。同規模で維持。

11 梨子木平浄水場管理棟

長岡1198-2、-3

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	梨子木平浄水場の施設管理室。 処理水量 2,274m ³ /日。配水池容量 1,700m ³ 。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	同規模で維持予定。
水源の汚染	急速濾過器の整備を検討。
利水の安全性低下	予備水源なし。
重要性	浄水施設として利用。同規模で維持。

12 新井浄水場管理棟

新井2094-2

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	新井浄水場の施設管理室。 処理水量 1,200m ³ /日。配水池容量 1,000m ³ 。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	同規模で維持予定。
水源の汚染	急速濾過器を整備済。
利水の安全性低下	予備水源なし。
重要性	浄水施設として利用。同規模で維持。

13 新井浄水場倉庫棟

新井2094-2

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	倉庫棟。水道事業の書類、災害時の配水タンク等を保管。
人口減少	該当なし。
施設の効率性 利用状況	同規模で維持予定。
水源の汚染	該当なし。
利水の安全性低下	該当なし。
重要性	同規模で維持予定。

14 新長岡浄水場

上野原2-13の一部

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	長岡浄水場の老朽化により新設した浄水施設。 処理水量 926m ³ /日。配水池容量 400m ³ 。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	同規模で維持予定。
水源の汚染	急速濾過器の整備を検討。
利水の安全性低下	予備水源なし。
重要性	浄水施設として利用。同規模で維持。

15 南部浄水場PC配水場管理棟

広場場3589-2

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	南部浄水場の配水施設。 広場場地区を中心に配水。配水池容量 1,500m ³ 。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	同規模で維持予定。
水源の汚染	同浄水施設に急速濾過器を整備済。
利水の安全性低下	予備水源として榛名白川表流水1592m ³ /日。
重要性	配水施設として利用。同規模で維持。

16 北部第2揚水機場

長岡2000,2002他

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	長岡揚水機場から送られた長岡湧水(新幹線)を梨子木平浄水場、北部第3揚水機場へ送水。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	同規模で維持予定。
水源の汚染	該当なし。
利水の安全性低下	該当なし。
重要性	送水施設として利用。同規模で維持。

17 北部第3揚水機場

上野原吾妻山1-3

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	北部第2揚水機場から送られた長岡湧水(新幹線)を新長岡浄水場へ送水。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	同規模で維持予定。
水源の汚染	該当なし。
利水の安全性低下	該当なし。
重要性	送水施設として利用。同規模で維持。

18 長岡揚水機場

長岡1430-1

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	長岡湧水(新幹線)取水。北部第2揚水機場、梨子木平貯水池へ送水。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	同規模で維持予定。
水源の汚染	該当なし。
利水の安全性低下	該当なし。
重要性	取水施設として利用。同規模で維持。

19 下新井揚水機場

新井2245-4

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	新井湧水(新幹線)を取水。新井浄水場、南部第2揚水機場、上野貯水池へ送水。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	同規模で維持予定。
水源の汚染	該当なし。
利水の安全性低下	該当なし。
重要性	取水施設として利用。同規模で維持。

20 南部第2揚水機場

新井953-4

施設の状態	概ね良好。 ・コンクリート表面劣化(ひび割れ、汚れ、浮き・剥離・剥落、すり減り等)の有無:なし ・コンクリート中鉄筋腐食の有無:なし
施設の役割・機能	下新井揚水機場から送られた新井湧水(新幹線)を南部浄水場、南部貯水池へ送水。
人口減少	平成40年度までに4.05%程度の人口減、計画有収量は3.25%程度の減。今後の10年間の事業規模は、同規模で維持予定。
施設の効率性 利用状況	同規模で維持予定。
水源の汚染	該当なし。
利水の安全性低下	該当なし。
重要性	取水施設として利用。同規模で維持。

3. 対策と時期

(1) 上水道施設の更新費用について

①更新費用の設定単価及び更新周期

	大規模修繕	建替え
更新費用	20万円/m ²	36万円/m ²
更新周期	30年	60年

※更新周期や単価は、総務省監修「公共施設等更新費用試算ソフト」における標準単価・標準更新周期を用いる。

②設定単価により試算した更新費用額

更新費用 総額	17,900,000円	(2028年度まで)
平均額 (単年)	1,790,000円	(10年間)

(2) 個別施設の更新予定年度

以下の更新予定年度は、「公共施設等更新費用試算ソフト」による標準更新周期により算定したものであり、平準化を行う前のものである。

更新集中時期については、各施設の老朽化の状況を勘案した上で各年度へ振り分け、更新時期の平準化を行う。

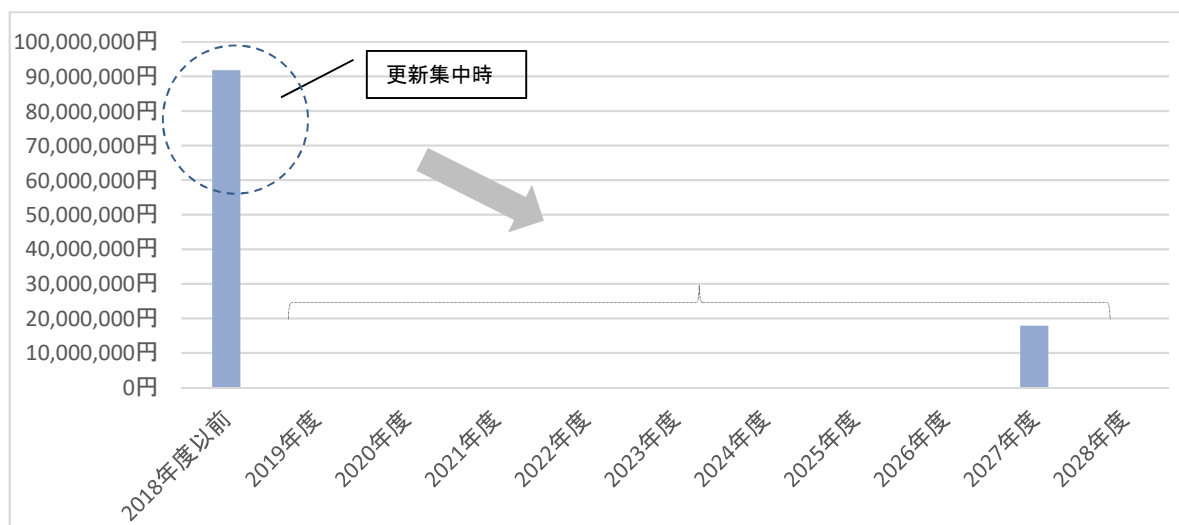
<更新予定年度(平準化前)>

- 2001 年度 南部浄水場管理棟(改修)
- 2001 年度 南部浄水場ポンプ室(改修)
- 2001 年度 南部浄水場滅菌室(改修)
- 2004 年度 下新井揚水機場(改修)
- 2004 年度 長岡揚水機場(改修)
- 2004 年度 南部第2揚水機場(改修)
- 2004 年度 北部第2揚水機場(改修)
- 2004 年度 北部第3揚水機場(改修)
- 2006 年度 新井浄水場管理棟(改修)
- 2007 年度 桃泉浄水場滅菌室(改修)
- 2013 年度 中央配水池管理棟(改修)
- 2027 年度 梨子木平浄水場管理棟(改修)
- 2031 年度 南部浄水場管理棟(建替え)
- 2031 年度 南部浄水場ポンプ室(建替え)
- 2031 年度 南部浄水場滅菌室(建替え)
- 2034 年度 下新井揚水機場(建替え)
- 2034 年度 長岡揚水機場(建替え)
- 2034 年度 南部第2揚水機場(建替え)
- 2034 年度 北部第2揚水機場(建替え)
- 2034 年度 北部第3揚水機場(建替え)
- 2035 年度 新井浄水場倉庫棟(改修)
- 2036 年度 新井浄水場管理棟(建替え)
- 2037 年度 桃泉浄水場滅菌室(建替え)
- 2038 年度 南部浄水場PC配水場管理棟(改修)
- 2042 年度 新長岡浄水場(改修)
- 2043 年度 中央配水池管理棟(建替え)
- 2057 年度 梨子木平浄水場管理棟(建替え)
- 2065 年度 新井浄水場倉庫棟(建替え)
- 2068 年度 南部浄水場PC配水場管理棟(建替え)
- 2072 年度 新長岡浄水場(建替え)

※○の付いた年度は、更新集中時期

(3) 更新集中時期と費用の平準化について

【更新時期】



上記のグラフのとおり2018年度以前の時期に更新が集中している。この期間の費用については、更新時期の平準化が必要であり、2019～28年度の期間へそれぞれ振り分ける。

【費用の平準化】

更新集中時期 2018年度以前

期間内総額 91,800,000円

振分期間 10年間(2019～28年度)

平均額 9,180,000円

(4) 長寿命化に関する対策(今後の主な取組内容)

①点検・診断

現在稼働している施設について目立った老朽化は見られないが、必要に応じて耐用年数を経過した施設を中心に構造耐久性調査を検討する。また、日常点検は継続して実施する。

②維持管理・修繕・更新

本計画では施設の統廃合の実施予定はないが、今後の人口減少を中心とした外部環境の変化に注視し、長期的な視点から最適な施設配置に努め、トータルコストの削減に努める。また、更新時期が集中しないよう費用の平準化に努め、計画的な施設更新を行うことにより適切な維持管理を目指していく。

③自然災害対策

いつでも安全な水が供給できるよう、近年多発する地震・集中豪雨等の自然災害に対する対策の検討を行う。

4. インフラ施設の整備・更新予定

(1) 管渠の整備予定

本村における人口は、減少傾向にあるが、道路網整備や宅地開発等による整備需要を勘案し、今後も管渠整備を継続し行うものとする。なお、管渠の整備延長の予定は、直近5年の整備延長の平均値から年間200mと想定した。

① 管渠の整備実績

項目	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	直近5年 平均値
整備延長	m	2,550	200	310	-	190	240	188≒200
累計整備延長	km	123.8	124.0	124.3	124.3	124.5	124.7	-

② 管渠の整備予定

項目	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
整備延長	m	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
累計整備延長	km	124.9	125.1	125.3	125.5	125.7	125.9	126.1	126.3	126.5	126.7

※年間の整備延長(予想)を200mと想定する。

③ 管渠の整備延長費用

項目	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
整備延長費用	千円	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

※整備延長費用は、総務省監修「公共施設等更新費用試算ソフト」における単価設定を用いて100千円/mとする。

整備延長費用総額は、以上により2028年度までの10年間で200,000,000円と想定する。

(2) 管渠の更新予定

管渠の更新量は、管路の更新実績や管種により管渠の更新基準年のばらつきがあることを勘案し、1,000m/年と想定する。

① 管渠の更新予定

項目	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
更新延長	m	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

※年間の整備延長(予想)を1,000mと想定する。

② 管渠の更新費用

項目	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
更新費用	千円	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

※更新費用は、総務省監修「公共施設等更新費用試算ソフト」における単価設定を用いて100千円/mとする。

更新費用総額は、以上により2028年度までの10年間で1,000,000,000円と想定する。